

会報 “ののいちっ子”

令和6年3月31日

VOL.35



▲あいさつ運動 (布水中学校)



▲美化清掃 (野々市明倫高等学校)



▲青少年育成研修会 (フォルテ小ホール)



▲コミュニティ・スクール (野々市小学校)

のご理解とご協力をお願い申し上げます。

魅力ある地域が青少年を育てていくと思います。関係各位

未来を担う子どもたちを地域総がかりで育むための「コミュニティ・スクール」の活動も定着し、市民会議では新しい時代を担う野々市市の青少年が、デジタル技術などを多方面で活用し心豊かで素晴らしい大人になるように地域や家庭、学校と連携・協力し市民総参加による青少年の健全育成に取り組んで参りたいと思います。

近年、多方面でデジタル化が進み大きく生活様式が変化しています。その変化に対応できた方とそうでない方で「極化し同じ情報でも伝わってない方がいます。自然災害も多くなり情報の伝わり方も課題の一つだと思えます。

さて、本市の小中学校のICT教育は「ののGIGA宣言」やデジタル・シティズンシップ教育など新しい技術を取り入れて大きく進んでいます。

令和6年能登半島地震により被災された皆さまに心から御礼申し上げます。

市民会議は発足より「青少年健全育成の推進」「地域の連帯感の醸成」「市民の実践力の向上」を目指し、昭和55年から市内全域で展開している「愛と和ののいちっ子5万人あいさつ運動」や「子どもと大人のまちぐるみ美化清掃」など地域全体で子どもたちを見守る活動に際し町内会や地域の方々にご協力をいただき深く感謝申し上げます。



会長あいさつ
ののいちっ子を育てる市民会議
会長 北川 千里

平素は、ののいちっ子を育てる市民会議の活動にご理解とご協力賜り、厚

『愛と和ののいちっ子万人あいさつ運動』

○全市民での継続的な取り組み

「あいさつ運動」は市民会議が中心となり昭和55年から市内全域で継続的に展開をしており今年度で44年目の取り組みとなります。

○木製バッジ

今年度は新たに、市より石川県産の杉の間伐材を使用した木製バッジ（小学生はカラー、中学生は彫刻）を寄贈していただきました。子どもたちにSDGsを身近に考えてもらう良い機会になったと思います。



愛と和のひと声運動

～布水中学校での取り組み～

●心のこもった挨拶をしよう

布水中学校の『生徒の努力目標』で一番目に掲げられているのが、「心のこもった挨拶をしよう」です。声を張り上げての元気な挨拶というよりは、目を合わせて優しい挨拶を心がけている生徒が多いようです。

地域の皆さま方からたくさんの応援を受けて愛と和のひと声運動が進められていることは、誠にありがたいことです。おかげさまで、素通りしていた子が視線を送るようになり、そして目を合わせて挨拶するようになり、やがて笑顔で声を届けられるといった変化が毎年起こっています。数年たって感じることは、素敵な挨拶ができる生徒が増えたことです。

●コミュニティ・スクールの取り組み

布水中学校運営協議会では、どの子どもたちも心から「笑顔で登校、笑顔で帰宅」できることをめざして家庭・地域と連携した学校づくりに取り組んでいます。11月2日の学校創立40周年記念行事には、「笑顔で登校、笑顔で帰宅」を推進するためのパネル・ディスカッションが行われました。

4名の生徒が、学校・家庭・地域の代表者とともに、事前にとられたアンケート結果を基に話し合いました。自分たちが笑顔になり、地域の方々も笑顔にするために自分ができることは何か、それぞれの立場で意見を述べました。その後、各教室において全校生徒で話し合いました。「地域のひととの交流を深めるために地域の行事やイベントに積極的に参加し、コミュニケーションを深めるために笑顔であいさつしたい」など、地域に貢献しようとするアイデアが多く出されました。

布水中学校の一員としてどのような行動がふさわしいのか、自分自身を見つめ直す良い機会となった様子で、あいさつ運動に応援していただいている地域の方々に感謝の気持ちを含めて挨拶する姿が格段に増えました。生徒の心のこもった挨拶がエネルギーになって、地域の方々も笑顔で元気に過ごせるようになるとよいと願っています。



「笑顔で登校、笑顔で帰宅」をめざして家庭・地域と協働する学校づくり

～布水中学校運営協議会～

『子どもと大人の

まちぐるみ美化清掃』

社会参加活動と健全育成活動の実践力を養う一環として「子どもと大人のまちぐるみ美化清掃」を7月2日(日)に行いました。

○地域の連帯と子どもの郷土への愛着

今年度は天候に恵まれず、小雨の中37町内会と明倫高校さんが地域の美化清掃に取り組んでいただきました。翌日に学校行事を控え、子どもたちの体調に気を使ったいただいた町会もあり、各町会さんには難しい判断だったと思います。回収したゴミを見ると、まだまだポイ捨てがあります。町が綺麗だとポイ捨てる人も減ると思うので、市民の意識が高くなれば良いと思いました。



青少年育成研修会

開催日 7月15日(土)
テーマ メディアと上手につきあう

講師 一般社団法人メディア教育研究室代表理事
今度 珠美氏
会場 野々市市文化会館フォルテ小ホール
参加者数 98名

本市でも取り組んでいる新しいメディア教育「デジタル・シティズンシップ」について、第一人者の先生をお招きして講演いただきました。困った時の3つのステップ「立ち止まる(悲しい時、つらい時は立ち止まろう)」「考える(今何をしてほしいか何をするべきか考えよう)」「相談する(信頼できる人に相談しよ



う)は、デジタル社会や年齢に関係なく全ての物事に当てはまり意識していきたいと思えました。また、今回は前日に布水中学校で授業をしていただき、後日市内全小6から中3までの子どもたちが視聴しました。

スマホ、タブレット、ゲーム機に関するアンケート2023

実施時期 令和5年5月
対象 小学校 3年生以上 中学校 全生徒
市内小中学生保護者、市内保育園保護者

幼児、児童、生徒が電子メディア機器とどのように接しているのか、またそれについて各家庭でどのような対応をしているのか、その実態を把握する目的で「スマホ、タブレット、ゲーム機に関するアンケート」を行いました。

今年で2年目となるアンケートで「ネットで困った時はどうしますか?」の問いがあります。どの学年でも「家族に相談」が一番多い回答ですが、一定数「そのまま我慢する」と答えた子どもがいます。大切な事を教えないままメディア機器を手にした子どもは、読解力や表現力が乏しく、誰でもトラブルを経験します。しかしこれを子ども一人で克服するのはとても難しいことです。改めて家庭、学校、地域で相談しやすい環境づくりが必要だと思えました。

今後毎年アンケート調査を行いますので、ご協力をお願いいたします。(市民会議ホームページよりアンケート結果が閲覧できます)

アンケート結果



みんなで作る、みんなのためのルール〜教育総務課

子どもたちの力でみんなのルールをつくらう!

様々なメディアの活用が日常化する今、本市ではデジタル・シティズンシップ教育を進めています。令和5年度は「ルールを考えることは、自分のよりよい生き方を考えること」、この考え方のもと、市内小中学校7校の児童生徒で「メディアの使い方に関するルールづくり」をすることとしました。

○自分、そしてみんなが幸せになるためのルールとは?

ルールづくりを進める上で、様々な考えを反映し深く協議するためには、核となる願いが必要です。『のいちGIGAスクール宣言』を作成した際は、「学習」「いじめ防止」「安全」「健康」を視点としました。今回はこれらの視点に併せ、ルールが一人ひとりの行動に結びつくよう「責任」「立ち止まる」そして「メディアバランス」を視点として設定しました。子どもたちは、問題を自分事として捉え、みんなが幸せになるためのルールとはどんなものか、活発に話し合いました。子どもたちの知恵を結集して作成したルールは、令和6年4月から運用開始となります。

ルールづくりのプロセス

～オンライン会議～
各学校児童生徒代表者と市教育委員会が段取りを相談

～各小中学校～
ルール案を協議

～オンライン会議～
小中7校の児童生徒代表者で協議



みんなのルール完成!

◆デジタルの善き使い手になる
◆みんなが幸せになる

令和6年度4月
ルールの運用開始!

ネットモラルを

呼びかける標語ポスター

○「ネットモラル標語ポスター」の掲示

市民会議ではネットモラルの啓発を目的に標語ポスターを作成しています。市内の中学生がネットの問題について、感じたことを標語とし、その中から選抜したものを採用しています。

このポスター

は夏期と冬期の学校の長期休みに合わせ市内の学校や各町内会、公共施設などで掲示されました。



冬期 夏期

コミュニティ・スクールについて

野々市市では、未来の野々市を担う子どもたちの健全やかな成長を目指し、家庭・地域・学校が連携・協力しながら「地域とともにある学校づくり」を推進しており、今年度で2年目の取り組みとなります。市民会議ではこのうち「地域学校協働本部」の運営・業務を担っています。

○学校と地域の調整について

学校と地域の連絡調整役として、学校からゲストティーチャーや支援ボランティア等の依頼があった際

に、地域学校協働活動ボランティア登録データ(140件)より学校にボランティアの方を紹介し、また登録データにない依頼があった場合についても、順次対応しています。

今年度新たなボランティア依頼として、駐車場のライン引き・ベンチ作成などのDIYや、家庭科で使用する包丁研ぎ、九九の聞き役など様々なリクエストがありました。得意な事を活かせるボランティアもあれば、誰でも参加できる内容もあります。

○ボランティアの登録について

子どもたちや学校のために役立ちたいという思いがあれば誰でも参加できます。市ホームページの「地域学校協働ボランティアの募集」ページから、もしくは下記2次元コードから登録をお願いします。



令和5年度

市民会議活動日誌

- 4月1日 愛と和のいち5万人あいさつ運動推進ポスターの掲示(春期) 愛と和のいち5万人あいさつ運動(第1期)
- 5月11日 愛と和のいち5万人あいさつ運動(第1期)
- 6月28日 のっティスタンド配布
- 7月1日 ネットモラル標語ポスターの掲示(夏期)
- 7月2日 愛と和のいち5万人あいさつ運動(第2期)
- 8月30日 清掃
- 9月21日 愛と和のいち5万人あいさつ運動(第3期)
- 10月1日 愛と和のいち5万人あいさつ運動(第4期)
- 11月14日 愛と和のいち5万人あいさつ運動(第5期)
- 1月1日 ネットモラル標語ポスターの掲示(冬期)
- その他 役員会・常任委員会(年4回) 環境浄化活動・非行防止活動・メディア対策事業・啓発活動

令和6年度 行事予定

愛と和のいち 5万人あいさつ運動

- 【街頭呼びかけ】5月10日(金)
- 【第1期】5月10日(金)～5月16日(木)
- 【第2期】7月1日(月)～7月7日(日)
- 【第3期】8月30日(金)～9月5日(木)
- 【第4期】9月24日(火)～9月30日(月)
- 【第5期】11月12日(火)～11月18日(月)

子どもと大人の まちぐるみ美化清掃

7月7日(日) 午前中
※実施場所・時間は町内会毎に決めます

青少年育成研修会

7月20日(土)
野々市市文化会館フォルテ 小ホール

“ののいちっ子を育てる” 市民会議

石川県野々市市三納一丁目1番地 野々市市教育委員会生涯学習課内
TEL 076-227-6117 FAX 076-227-6258
HP <http://sodateru.nono1.jp>
メール sodateru.nono1@city.nonoichi.ishikawa.jp

